

令和8年度 第2回講演会について

市町水道職員等への水道知識の普及を目的とし、講演会を次のとおり実施しました。

- 1 日 時 令和8年7月31日（金）午後1時00分～
- 2 場 所 アイリス愛知 2階「コスモス会議室」
- 3 講 師 公益財団法人給水工事技術振興財団
（前・公益財団法人水道技術研究センター）
理事長 安藤 茂 様
- 4 演 題 『最近の水道を巡る話題あれこれ』
- 5 内 容 水道法の変遷や水質管理、水道事業の広域化、PFAS 対策、スマート水道メーターの導入など水道事業を取り巻く最近の話題について
- 6 聴 講 者 101 名（愛知県、日本水道協会愛知県支部会員ほか）
- 7 開催状況



開会挨拶(当公社理事長)



講師：安藤 茂 様



講演状況



講演状況

水道緑地部 第2回講演会（講演内容要約）

日時：令和8年7月31日（金）13：00～

場所：アイリス愛知

講師：公益財団法人給水工事技術振興財団

（前・公益財団法人水道技術研究センター）

理事長 安藤 茂 氏

演題：『最近の水道を巡る話題あれこれ』

本講演では、水道事業を取り巻く制度、技術、経営に関する最近の話題について、水道法の変遷や水質管理、水道事業の広域化、PFAS 対策、スマート水道メーターの導入などを中心に講演を行った。

【講演要旨】

1. 水道制度と給水装置制度の変遷

- ・明治期から現在に至る水道制度の変遷と水道法における各種用語や定義について解説。
- ・給水装置制度は平成8年の日米貿易摩擦を契機として見直しが進められた。
- ・給水工事技術振興財団設立の経緯や役割について紹介。

2. 水質管理と安全確保への取組

- ・沖縄県における水質基準の特例措置と全国統一までの経緯について説明。
- ・海外におけるクリプトスポリジウム及びジアルジアの水質基準などを紹介。
- ・クリプトスポリジウム等の対策として導入されている、海外の大規模浄水場における紫外線消毒設備等について解説。

3. 水道事業の広域化の推進

- ・人口減少や施設老朽化への対応策として広域化の必要性を説明。
- ・奈良県、茨城県、千葉県など全国の広域連携事例を紹介。
- ・香川県広域水道企業団の設立経緯や料金統一に向けた取組について詳しく解説。

4. PFAS 対策とスマート水道メーターの動向

- ・PFAS 除去に関する研究開発の状況と活性炭・イオン交換技術の活用について紹介。
- ・スマート水道メーターに関するこれまでの取り組みやプロジェクト概要を紹介。